

「環境保全」をテーマに活動する団体とのワークショップ
 平成23年8月29日(月)午後1時30分～3時30分 Aグループ

見出し	良い点/改善点	内容
マニュアル	良い点	あると助かる
	改善点	何のためにどのような目的で作ったものなのか
		基本の考え方をしっかりしておく
		あまり細かいと目的が分からなくなる
		市の事業の中で協働にシフトしたらいいものをピックアップ
		意識が大切である
		絵に描いたモチにならないように
		話だけで終わらないように
		手続きに必要なものを明記
		「困った時は市役所に来てください」と最初に書いてあればよい
		協働して良かった点を書く。行政側と団体側の生の声を入れては
		協働のPRをもっとする。広報やHPで
		うまくいったことを大切に。活かす。PR。
		サポセンも窓口に大きく位置付ける
		財政支援情報をもっと載せる
		こんなときにこういう解決をした、という話を載せる
困ったときにどうすれば良いかというのが、なかなか出てこないの、最初に持ってきては。(P35の4章)		
行政側からプラス面・マイナス面の声を入れる		
「団体の資金に困った時は…」という案内がほしい		
こんな悩みはこう解決したということを書く		
マニュアル作成だけで終わらない、実行に移すための提案	改善点	本日の意見をまとめて市役所内で周知するように。この場だけで終わらないようにする→ニュース発行につなげる
		市役所でやっている仕事で協働できるものを抽出してみる
		市民参画で職員の意見もまとめたらよい
		協働の基本をしっかりと市役所内で認識しておく
		530運動を毎日やっては
		民間からの働きかけを待っているだけではいけない
		行政から仕掛けていくことも大切(広がっていく)
		市民の熱意を大切にする
		民間発の協働が多いのではないか
役所の垣根を低く!	改善点	市役所は行きづらい
		まずは話を聞くセクションがあったらいい
		相談しやすい環境づくりを
		行政はカタくないというPR
		民間からの声を吸い上げる窓口を
		市役所の縦割りの対応はやめてほしい。職員がもっと知識を持つように
		職員提案制度の活用を検討する(行政協働の担当で)
		サポセンと市の連携がもっとあればよい。サポセンを窓口にするなど
		ナビゲーターを養成する
		協働ナビゲーターのような人がいればよい

「環境保全」をテーマに活動する団体とのワークショップ
 平成23年8月29日(月)午後1時30分～3時30分 Aグループ

見出し	良い点/改善点	内容
市役所や 職員の印象	良い点	手続きがスピードアップしている
	改善点	ライン職にも協働意識を持つべき
		解決しようとする気持ちを持つ(話を聞く)
		細かいところではなく、大局的な目をもつことも大切
		おかしいと思うことについて意見を出していく
		縦割りをなくす
		本音と建前の差がある
		まずは話を聞くところから
		職員の間で意識が違う(目線)
		「予算がない」と言って終わらせるのではなく、どうしたらいいか考えてほしい。協働でできることもあるはず。(活動は団体が…その広報は市が…など)

「環境保全」をテーマに活動する団体とのワークショップ
 平成23年8月29日(月)午後1時30分～3時30分 Bグループ

見出し	良い点/改善点	内容
マニュアルの課題	改善点	サポートセンターが窓口の方が入りやすい(マニュアルだけでは理解しにくい)
		文字が多くてとっつきにくい
		1ページ目に概要を作るべき
		マニュアルの認知度が低い
		初心者には使いにくい
		協働について詳しく記載してほしい
		マニュアルが入手しにくい
		マニュアルって何？
協働ってなに？	良い点	行政活動と市民活動の間が協働 自治会も協働の一つ
	改善点	活動の主導が誰なのかはっきりさせる
		協働すべき事はどっちが提案していくか？
		市民同士の協働は？
		協働って言葉が定義されていない
		どこまでが協働なのかはっきりすべき
		協働できる事、できない事の線引きは？
行政がすること	改善点	市民活動を継続させるのが行政の仕事(人材育成)
		市民に長岡の問題を伝える。→協働のきっかけになる
		現状(課題)を提供するシステム作り
		社会的活動のきっかけは行政がつくらなくてはならない